

令和元年度
(2019年度)

長寿社会部の運営方針

<部の構成>

長寿社会総務課、地域包括ケア推進課、介護保険課

<担当事務>

- (1) 高齢者福祉に関すること。
- (2) 地域包括ケアに関すること。
- (3) 介護保険に関すること。

<部の職員数>H31年4月1日現在

正職員	42名
再任用職員	3名
任期付職員	-名
非常勤職員	29名
合計	74名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

1. 基本方針

長寿社会部は、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して暮らし続けることができるよう、住まい、医療、介護、介護予防、生活支援サービスを包括的かつ継続的に提供する地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進めています。

平成31年度は、「ひらかた高齢者保健福祉計画21（第7期）」（計画期間：平成30～32年度）の中間年にあたり、これまで構築を進めてきた「地域包括ケアシステム」のさらなる深化とともに、第8期を見据えた段階的な取り組みを推進します。

2. 重点施策・事業

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施

方向性	適切な生活支援と介護予防を一体的に提供することで、高齢者がいきいきと生活できる環境づくりを進めます。
取り組み	<p>リハビリテーション専門職等を活用した市独自の生活支援・サービス事業では、要支援認定者等の心身の機能を引き上げる効果的なサービス提供を継続します。また、自身の状態を確認できる測定等の実施体制を構築し、測定データを活用して、元気を取り戻した高齢者がその状態を維持できるよう、身近な場所での自主的な介護予防活動を支援します。</p> <p>また、「元気づくり・地域づくりプロジェクト」では、地域と共に考え、効果的な方策の具体化につなげるなど、高齢者の社会参加を促進し、支える体制づくりに継続して取り組みます。</p> <p>《目標値》 第7期計画期間（平成30～32年度）の目標 ひらかた元気くらわんか体操の実施グループ数 185グループ（平成30年度実績：192グループ） ひらかた元気くらわんか体操の実施グループ参加者のうち歩行機能が改善した人の割合 70%（事業開始時の初期値：44.2%）</p> <p>平成31年度当初予算： 1,493,242千円</p>

(2) 認知症施策の推進	
方向性	認知症高齢者が尊厳を持ち、できる限り住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、認知症に対する正しい知識を普及するとともに、ニーズに沿った支援と権利擁護の取り組みを進めます。
取り組み	<p>認知症サポーターの養成を継続するとともに、市内で活動している認知症カフェの交流会を開催するなど、「認知症にやさしい地域づくり」に向けた取り組みを支援していきます。</p> <p>また、早期の支援につなげるため認知症初期集中支援チームの周知と活用を図るとともに、すべての高齢者サポートセンターに認知症地域支援推進員を継続して配置し、地域の実情に応じた相談支援を行います。</p> <p>更に成年後見制度の普及や市民後見制度の整備を進め、関係機関と連携して消費者被害や高齢者虐待等の発生の予防・早期発見から必要な支援につなげていきます。</p> <p>《目標値》</p> <p>認知症地域支援推進員の配置数 19人 (平成30年度実績：17人)</p> <p>平成31年度当初予算： 15,381千円</p>

(3) 在宅医療・介護連携の推進	
方向性	高齢化の進展に伴い、医療と介護の両方の支援を必要とする高齢者の増加が予測されています。高齢者が安心して在宅生活を送ることができる環境整備を目指し、医療と介護の円滑な相互連携を図ります。
取り組み	<p>医療・介護の関係者で構成する「地域ケア推進実務者連絡協議会」や、高齢者サポートセンターを中心とした多職種連携の研修などを通して、相互理解の取り組みを進めます。また、医療・介護専門職向けの在宅医療・介護連携支援の電話相談窓口の受付時間帯を拡大するとともに、より効果的な実施方法を検討していきます。</p> <p>また、市民が人生の最期の過ごし方を選択し、地域で安心して生活することができるよう、在宅における看取りの普及啓発を行うとともに、身寄りのないひとり暮らしの高齢者等についても、緊急時にご本人の意思が尊重されるような支援のあり方を検討します。</p> <p>《目標値》</p> <p>地域ケア推進実務者連絡協議会等の開催回数 (部会を含む) 27回 (平成30年度実績：27回)</p> <p>平成31年度当初予算： 41,913千円</p>

(4) 高齢者お出かけ推進事業の実施	
方向性	高齢者が外出する機会を増やすための後押しやきっかけとなる仕組みとして実施し、人と人との交流・社会参加の促進・生きがいづくり・健康づくりに資する活動を通じた健康寿命の延伸や介護予防の推進を図ります。

取り組み	<p>高齢者お出かけ推進事業では、ポイント付与対象事業に参加した市民が、高齢者お出かけ推進手帳に高齢者専用ポイント（シール）を貯めて、京阪バスポイントへの交換や市内協力店舗での買い物で使用できる「ひらかたポイント」や、楽寿荘及び総合福祉センターの使用料として使用できる「高齢者お出かけ推進チケット」に交換することができます。この仕組みにより、自主的かつ継続的な外出をしていただくことで、介護予防の推進と健康寿命の延伸につなげることを目指します。</p> <p>また、ポイント付与対象事業の追加、高齢者お出かけ推進チケット活用先の追加、ポイント交換場所の増設など、事業の拡充に向けて検討を進めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>高齢者お出かけ推進手帳配付部数 20,000 部</p> <p>高齢者へのポイント付与数 9,674,000 ポイント</p>
	平成 31 年度当初予算：1,366 千円

(5) 広域型特別養護老人ホームの増築等や地域密着型サービスの整備	
方向性	<p>介護を必要とする高齢者の増加を踏まえ、広域型特別養護老人ホームの増築等や、地域密着型サービスの整備に向けた取り組みを進めます。</p>
取り組み	<p>ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第 7 期）に基づき、平成 30 年度に整備事業候補者を選定した広域型特別養護老人ホームの増築等や、地域密着型特別養護老人ホーム・看護小規模多機能型居宅介護等の整備に向けた進捗状況を確認するとともに、引き続き、小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービスや特定施設入居者生活介護等の整備を行う事業者を公募し選定します。</p> <p>《目標値》</p> <p>第 7 期計画期間（平成 30～32 年度）の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●既存広域型特別養護老人ホームの増築等 95 床 ●地域密着型特別養護老人ホーム 58 床（87 床） ●小規模多機能型居宅介護 2 か所（2 か所） ●既存グループホームの増築等 36 床（18 床） ●特定施設入居者生活介護 70 床（60 床） など <p style="text-align: right;">※（ ）内は第 6 期（平成 27～29 年度）実績</p>
平成 31 年度当初予算：596,077 千円	

3. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	外郭団体等の経営状況等の点検・評価結果に係る対応方針に基づき、シルバー人材センターの事業を適切に進捗確認します。また、センターの自主事業に対する事業補助金についても、その事業の進捗状況等の確認を行います。
42. くずは北デイサービスセンターの民営化	令和4年度（2022年度）まで指定管理者による運営を継続し、当該施設のあり方も含めた課題の検証を行うなど、より効率的・効果的な運営について検討を行います。

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
満足度の高い窓口対応	窓口アンケートを実施し、結果を踏まえて対応改善を行うなど、市民満足度の向上に努めます。
職場環境の改善	新文書管理システムの導入により紙書類による保存文書ファイルが減少するため、狭隘となっている書架等の整理を行い、職場環境の改善に取り組みます。

4. 予算編成・執行

- ◆ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第7期）（計画期間：平成30～32年度）に基づき、適正な予算編成・執行に努めます。

5. 組織運営・人材育成

- ◆職場の課題や懸案事項等については、定期的開催する職場会議等を通じて職員間で共有し、その解決等に向けて組織的に取り組みます。
- ◆介護予防・日常生活支援総合事業の介護予防効果をさらに高めるために、地域のリハビリテーション専門職等を活用した実施体制の充実を継続して推進します。

6. 広報・情報発信

- ◆枚方市のホームページについて、閲覧者が知りたい情報をわかりやすく整備するとともに、速やかに情報にアクセスできるよう、閲覧者の利便性向上に努めます。
- ◆地域の医療・介護情報をはじめ、さまざまなインフォーマルサービスや通いの場など、高齢者

のための地域資源を情報提供する「暮らしまるごとべんりネット」の情報を定期的に更新し、機能拡充を検討します。